

ふれあい

主な内容

- 1.P. 地域巡視で廃棄物を収拾！
- 1.P. 美しく住み良い環境づくり
- 2.P. 令和4年度総会報告
- 3.P. 私のひとりごと
- 3.P. 私のふるさと・地域のわだい
- 4.P. お役所・健康コーナー
- 4.P. 部会だより

●発行所/ひたちなか市長堀町3-4-1 (1中地区コミュニティセンター内)

☎029-275-2671

●発行責任者/坂井 久彦 ●編集/広報委員会

地域巡視で廃棄物を収拾！ —環境部会—

毎年、春秋に行っている地域巡視を5月12～14日に実施しました。今回の対象は3地区(勝倉・中根・三反田)の県道・市道沿いです。メンバーは市委託の不法投棄監視員を中心に1地区3～4人。綺麗な田園風景の中にたくさん空き缶・ペットボトル・弁当容器等を発見。特に茂みや雑木の下など目立たない所や、交差点付近に目立ちました。中には運動靴、椅子のクッション等、意外なものもありました。
軽い気持ちでごみを投棄・放置すると環境汚染に繋がります。部会で実施する年2回の地域巡視だけで、ごみを無くすることはできません！一人一人が捨てない・拾うを心がけ、ごみの無い美しい1中地区にしたいものです。



県道水戸勝田那珂湊線 市防災拠点倉庫付近



収拾したごみ



中根地区担当



三反田地区担当



勝倉地区担当



環境部会長 三浦 秀夫

美しく住み良い環境づくり

昨今、地球温暖化・陸海の環境汚染・食品ロス等の問題が世界的にクローズアップされ、国連サミットで採択されたSDGsに、国内でも大きな関心が寄せられています。このような背景のもと、当部会では次の活動を行っています。

(1)不法投棄監視員と部会員による

廃棄物の収拾

を地区の道路沿い・那珂川の堤防沿いを定期的に巡回し、

ペットボトル・空き缶・その他の

ごみを収拾し、市に報告する。

(2)花苗配付・販売による地域美化

小学校の花壇に花苗を植え

る。自治会にも配布。コミュニティ

まつで一般にも販売する。

(3)環境の視点で食を考える

料理実習を通じ、環境面から

食品ロス等、食の課題について

考えるきっかけとする。

(4)勉強会の実施

環境問題に関するDVD視聴

により、環境保護意識を高める。

(5)自治会の環境美化活動の支援

使用するごみ収集袋を自治会

ごとに分け、配布する。

以上ですが、この他にも再利用

用の推進、脱炭素、自然の保護な

ど、多くの環境課題があります。

私が部会に入会した頃、那珂

川堤防沿いのごみを拾い終え、

百色山でふと振り返ると川面が

きらめき、その素晴らしい景色

に感動しました。今後、この

ような豊かな美しい自然環境を

保ち、住み良い環境づくりに貢

献していきたくと思います。



令和4年度 一中地区地域のふれあいを広める会

総 会 報 告

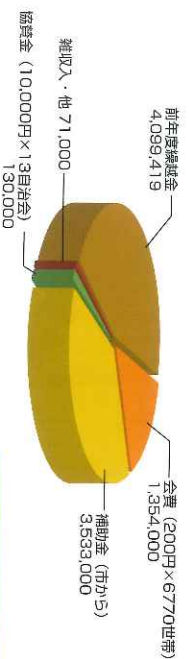
4月23日、1中地区コミュニティセンターで令和4年度定期総会が開催されました。今年は、大谷 明市長・大谷 隆議長ほか3名の市議会議員にご出席いただき、新型コロナウイルス感染症予防のため、出席者を絞リ座席の間隔を広めにとり、代議員30名と会役員・コミセン職員とで久しぶりに盛大に行われました。すべての案件は原案通り可決され、短時間で終了できました。

3年ぶりに総会の場で、大平自治会長を退任した池田 聡氏、富士山自治会長を退任した中村 誠氏、部会や委員会で長年貢献された坂本 禮子氏・馬場 丈夫氏・磯 香雄氏に感謝状が贈呈されました。

一中地区地域のふれあいを広める会 (本会)

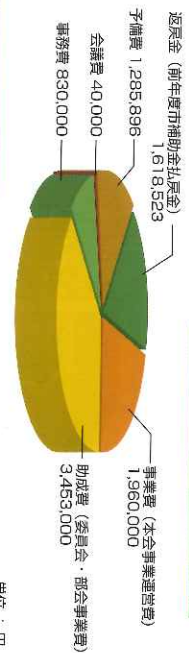
役員		事業	
会長	坂井 久彦	4/23	ふれあいを広める会総会
副会長	盛口 祥子	10/9	第28回 秋季大運動会
副会長	山田 俊	10/18・19	理事招集研修
副会長	菊池 均	11/5・6	第37回 コミュニティまつり
理事	自治会長10・部会長/委員長6		
監事	岡田 豊勝・尾曲 六郎		
事務局	打越 勇夫・伊藤 昭子		
北 礼子			
千春			

歳入 ¥9,187,419



令和4年度歳入・歳出予算

歳出 ¥9,187,419



単位：円

令和4年度事業計画

地域部委員会 事業費 ¥40,000 委員長 山田 俊 事業 6月 自治会長の負担軽減会議 11月 自主防災会 2月 情報交流会	実践部委員会 事業費 ¥50,000 委員長 盛口 祥子 事業 8/6 交流会 随時 委員会	広報委員会 事業費 ¥760,000 委員長 横山 恵美子 事業 7・12・3月 広報紙「ふれあい」発行 9月 コミュニティまつりチラシ作成 10月 写真撮影研修会
体育部会 事業費 ¥765,000 部会長 川又 吉次 事業 6/5 第19回 三世代交流 9/25 レクリエーション大会 10/9 第5回 ノルディックウォーキング 10/30 第28回 秋季大運動会 2/12 第46回 ソフトボール大会 3月 第12回 ヘルスパワーボール大会 第24回 コルフ大会	青少年部会 事業費 ¥490,000 部会長 小室 敏司 事業 7/14 少年の主張大会 参加 7/30 三世代ふれあいチャレンジ教室 (中級小・学区) 8/23 親子で社会見学 11/20 親子でわくわく自然体験事業 12/3 星空観察会 1/14 お正月遊び (長堀小・学区)	環境部会 事業費 ¥445,000 部会長 三浦 秀夫 事業 5/12~14・10月 地域内巡視活動 5/20・11月 地域内清掃準備 6/1 三世代交流自然環境に親しむ会 (中級小) 7/6 地域美化運動 料理教室 (環境面から食生活を考える) 2月 環境問題に関する勉強会
福祉部会 事業費 ¥168,000 部会長 荒木 とも子 事業 7/9・2/18 地域福祉講習会 (認知症サポーター養成講座) 9/16 部会筑業研修 10/15 福祉部会全体会 随時 特別養護老人ホーム「はまぎくの里」にてボランティア	安全防災部会 事業費 ¥315,000 部会長 長岡 明美 事業 6月 招集研修 (防災関係) 中止 7・11月 交通安全防止啓蒙活動 8月 安全教室 2月 理事研修 (防犯関係)	文化部会 事業費 ¥420,000 部会長 盛口 祥子 事業 11/5・6 第37回 コミュニティまつり 11月 移動研修会 1/28 心のいやしコンサート 3/12 第32回 芸能音楽祭

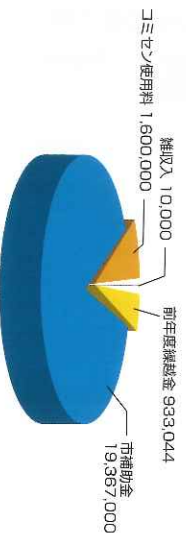
※各委員会・部会の事業費は、本会からの助成費です。

※自治会ごとの事業内容は、各自治会からのお便りをご覧ください。なお、各自治会長は以下のとおりです。

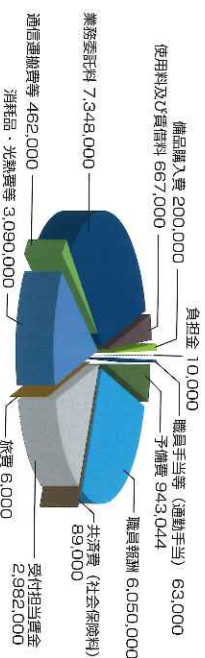
永盛 啓司(勝田駅前南) 菊池 均(三反田) 坂井 久彦(大成町) 伊藤 政徳(西中根) 山田 俊(中根) 風見 保(大平) 大貫 英次(勝倉)
伊野 昂(東中根団地) 土田 良春(富士山) 佐藤 定男(薬師台) 薬原 武夫(長松) 関口 勝夫(金上) 川瀬 正紀(世野)

令和4年度1中地区コミュニティセンター管理運営に関する経費内訳

歳入 ¥21,910,044



歳出 ¥21,910,044



※詳しくはホームページ

検索は「一中地区 ふれあいを広める会」です。

単位：円

私のひとごと

子供の頃の思い出と現代

金上自治会
関口 勝夫

「人生は夢の如し」とたとえられますが、早いもので私が癩癩小学校を卒業して半世紀が過ぎましたといえます。当時「先人の徳々な苦勞により平和を取り戻し、戦後復興期の真只中において、学校が繁われば暗くなるまで自由に野・山・川で楽しんで遊んでいいた記憶が、鮮明にもみえうします。今思えば、平和で自由な時に育つて本当に良かったと感じます。」

最近では、情報網・移動手段の発達により、世界が身近に感じられるものになっていきました。近世の「ロンドン霧の怪談」を例にと

をしてくましました。その折、文化会館の駐車場に「なぐり塗りに注意」との標示がありました。思わずツキと誤ってしまいました。子供の頃、坂道とがっけ合ったあのようでした。一方から二ノ下では、三ノ下・砲弾の落込で罪のない人々が命を落としています。また、落下のような小さな事なまでに気を付けていれて、このような管理者の方、本当にありがたうございます。このような事を思つて、何と日本は平和な国なんだと感謝の気持ちでいっぱいです。

子供の頃、平和・自由が、いまでも続べようじ、またなぐり塗りの怪談・ロンドン霧の怪談が早く来るものに願つていきます。

金土百治会
関口 勝夫

して、井野のどの場所へ何かに赴くつもりで、私たちが何回かの襲撃を取らぬやうになりて来てゐた。和井は電子機器などを用ひ強し、警察を召喚したつちから中絶となす。

十三 参りに思ふ

三 川 昭 子

十三参りに思う

富士山自治会

二川 昭子

今年の3月の最終日曜日、4月に中学
一年生になる男児2人の孫とその家族と
共に、東海村松の虚空蔵尊に十三参り
に行ってきました。今時、十三参りにな
ると、嫌かしい記憶です。

と行く家族は少数派かと思つていたら、
「さうです。ですから多くの人たちで睡わつて
寝てしまつた。大部分の方々は、私達とさう
違ひな正装でした。」
御折柄を受けるため本堂に入つて驚きの
孫たちも、未来をも、智慧で乗り
切つて欲しいと思つた。天井裏
まで届くと思はれる程に、参拝者の誰もい
ません。



私生活

北海道有数の農産業の町

大成町自治会 坂井 久彦

私伝 昭和3年3月谷井氏にきて、北海道の
南西部、後志支庁の森町（人口5,040
人）で暮らしていた。森町は日本海に面した内泊型
の湾に臨み、津田と奥で、豊まれた気候風土のもと農業
を専攻産業とした町でした。

私は中学校までしか親元においでませんでした。昭和29年9月25日の台風15号による災害は、今でも胸裏に焼き付いています。隣町である岩内町の大火で町の半分以上が焼け野原となり、家を焼失した知人の2家族が翌日から約半月間、我が家で共同生活をしました。この台風により、青函連絡船「洞爺丸」が沈没し、死者が155名に及び、日本海難史上最大の惨事となりました。

私が離明後の共和町では、草薙産業の米作はもう
 ちろんですが、ひたちなか市のスーパでも見受
 けられる雷電「うん」の「ら」でなく「ろ」な
 でんすか」をはじめ、スー「ローン」など
 肉有数の自慢の美味しの特産物がたくさん作ら
 れています。また、北部には積丹半島、南部には二
 セ「川」の山々が連なり、二セ「積丹小樽海産国
 定公園」となっています。特に町内の観光地とし
 て、二セ「川」の中で最も美しいと言われる「神
 仙沼」があり、紅葉にはたてざとの人が訪れ、
 自然の散策を楽しんでいます。そして町内には、
 二セ「川」で高い評価を得ている画伯の「西村計雄
 記念美術館」、隣校を修復して活用した開拓の歴
 史が解る「かかし古里館」などがあります。

豊非、皆さんにも北海道産和布を知っていただき、豊かな自然で育った特産品を楽しんでいただければ幸いです。



地域のわだい

2年B組のグラウンドゴルフ大会

大平自治会 池田 聰

大平自治会では、昨年11月28日に石川運動ひろばでクラウンポコリツ大会を開催しました。

以前は春と秋に2回行っていたが、新型コロナウイルス感染症が蔓延してから、開催を自粛していましたので、ほぼ2年ぶりです。

大会には、グラウンドゴルフの
初小者から各種大会出場経験者ま
い汗を流し親睦を深めました。



挑戰

コロナ禍の様々な制限がある中でも、子供たちの学びの充実を図るため様々な工夫をしています。

例えば、「1年生を迎える会」では、6年生が中心となり学校紹介を行いました。また、長堀小がこれまで大切にしてきた体験活動である「米作り」は、5年生が主体となり継



燃しています。「運動会」は、低・中・高学年アロツクごとに入れ替わって演技を行いました。表現の科目では、みんなので一つの演技を創り上げる達成感を、子供たちは実感することができました。

今後めみんなで一丸となり、様々なことに挑戦していきたいと思います。



長堀小学校長 中島 隆行

